

# 平成15年度 陵墓関係調査報告

## 陵墓調査室

### 調査の概要

当調査室では、古代高塚式陵墓および埋蔵文化財包蔵地における陵墓の保全・整備のため、土木工事などを実施するにあたり、施工区域・箇所遺構・遺物の有無を確認し、工法の決定に資することを主な目的として事前調査・立会調査を実施している。平成15年度も各陵墓監区事務所や京都事務所と協力し、以下の区域・箇所において調査を行った。

〔事前調査〕 1件

- 1 神功皇后狭城盾列池上陵(奈良市山陵町：畝傍監区)墳塋裾護岸その他整備工事区域の調査  
11月・12月実施、担当：徳田誠志・清喜裕二・石塚俊光・松岡隆行・長濱匡洋・徳永真明  
報告文は後掲する。

〔立会調査〕 26件

- 2 高円宮憲仁親王墓(東京都文京区大塚五丁目 豊島岡墓地内：多摩監区)営建工事区域の調査  
7月実施、担当：福尾正彦・北條朝彦  
平成14年度の墓壙掘削工事に引き続き、墳塋周囲の外構柵地中梁設置箇所などの掘削に立ち会い、下半で地山のローム層を認めた。遺構や遺物は認められなかった。
- 3 豊島岡墓地(東京都文京区大塚五丁目：多摩監区)雨水排水関係工事区域の調査  
9月実施、担当：福尾正彦・清喜裕二・有馬 伸  
墓地の北側の山階家墓所から高円宮墓所間の参道、および西側に位置する調整池より中央広場方面に向けて排水管を敷設する工事に立ち会った。閑院宮家墓所前の掘削では、床面付近まで掘り込んだゴミ穴を確認した。鉄筋などとともに、おそらくは閑院宮家関係の祭祀に使用された皿・椀・瓶子がほぼ完形で約10点出土した。他に、遺構・遺物は認められなかった。
- 4 猷仁親王墓(東京都文京区大塚五丁目 豊島岡墓地内：多摩監区)鳥居改築工事箇所の調査  
2月実施、担当：福尾正彦  
鳥居基礎部分の掘削に立ち会った。表土の砂利層の下はコンクリートガラなどを含む盛土であり、以前の鳥居建立の際、全面的に掘削された箇所の再掘削にとどまった。
- 5 文徳天皇田邑陵(京都市右京区太秦三尾町：桃山監区)鳥居改築工事箇所の調査  
10月実施、担当：藤本 寛・森岡正則  
いわゆる遺跡台帳には記載されていないが、念のため立ち会った。遺構・遺物は確認できなかった。
- 6 桓武天皇柏原陵(京都市伏見区桃山町永井久太郎：桃山監区)鳥居改築工事箇所の調査  
2月・3月実施、担当：福富 彰・妹尾吉紹

既存の鳥居の基礎工事のため、大半は埋め戻し土であった。床面付近では粘質性の強い地山が認められたが遺構は検出されなかった。遺物も出土しなかった。

- 7 継体天皇三嶋藍野陵(大阪府茨木市太田3丁目：桃山監区)墳塋裾護岸その他整備工事区域の調査

11月・12月・2月実施、担当：有馬 伸・森下利光・藤本 寛・高田慶昭・辻井忠則・曾田誠二

報告文は後掲する。

- 8 任助親王墓(広島県佐伯郡大野町宮島口2丁目：桃山監区)災害復旧工事箇所の調査

9月実施、担当：徳田誠志

墓(五輪塔)の周囲をめぐる石積等の基礎の改修工事に立ち会った。墓の位置する部分は、背後から伸びる丘陵を平地にしたものであり、薄い表土の下にはすぐ黄褐色砂質を呈する地山が検出され、遺構・遺物はまったく検出されなかった。

- 9 明治天皇伏見桃山陵(京都市伏見区桃山町古城山：桃山監区)御休所動力設備ほか工事箇所の調査

3月実施、担当：長谷川政明・上田君栄

動力設備ほか工事に伴う配管工事による掘削に立ち会った。過去の工事によりすでに攪乱されており、遺構・遺物は認められなかった。

- 10 伏見宮墓地(京都市上京区相国寺門前町 相国寺内：月輪監区)外構囲障設置工事箇所の調査

8月実施、担当：岡田日出男・岩槻知樹・山本在大

外構柵設置および参道入口石柱・鉄扉設置箇所の掘削・埋戻しに立ち会った。大半が近年の埋戻し(整地層)であり、遺構・遺物は何も出土しなかった。

- 11 下坂本陵墓参考地(滋賀県大津市木の岡町字木ノ岡山：月輪監区)外構柵設置工事箇所の調査

11月実施、担当：徳田誠志・岩槻知樹・寺岡慎太郎・竹村哲也

報告文は後掲する。

- 12 天智天皇山科陵(京都市山科区御陵上御廟野町：月輪監区)水路補修工事区域の調査

12月・1月実施、担当：鎌田幹史・寺岡慎太郎

陵域の東辺沿いに南下する水路補修工事箇所、および2箇所のU字側溝取設箇所の掘削に立ち会った。前者についてはコンクリートの解体のみであり、土層は確認できなかった。後者については周辺整備時の盛土と考えられる土層のみであった。遺構・遺物は確認できなかった。

- 13 四條天皇月輪陵以下(京都市東山区今熊野泉山町 泉涌寺内：月輪監区)築地塀改築その他工事区域の調査

12月・1月実施、担当：奥野 肇・米谷有朋・今出伸一

平成13年度から開始された4ヶ年計画の3年目にあたる。今回は四周をめぐる築地塀のうち、東側から南側部分の改築に伴う掘削などに立ち会った。一部で地山が認められたが、大半は従前の掘削に伴う盛土であった。遺物として燻瓦数十片が採集された。盛土内に混入

したものであり、遺構に伴うものとは思われない。

- 14 泉涌寺(京都市東山区今熊野泉山町：月輪監区)防災工事箇所の調査  
4月実施、担当：田端勝一・米谷有朋  
泉涌寺施工による防災工事に伴い、陵墓地内に放水銃を設置する工事に立ち会った。表土下に参道の基礎、および整地層が確認され、その下は地山であった。遺構・遺物は何も出土しなかった。
- 15 泉山陵墓地飛地い号内(京都市東山区今熊野悲田院山町：月輪監区)水道管撤去工事箇所の調査  
11月実施、担当：田端勝一・米谷有朋  
京都市内水道管整備に伴い、飛地い号内布設の水道管が不用管となるため、市水道局により撤去することとなった。その掘削に立ち会ったが、いずれも過去の工事の埋め戻し土であり、遺構・遺物は認められなかった。
- 16 宣化天皇身狭桃花坂上陵(奈良県橿原市鳥屋町：畝傍監区)見張所改築工事箇所の調査  
11月・3月実施、担当：有馬 伸・芳村弘士・池西良和・西村悦二  
報告文は後掲する。
- 17 懿徳天皇畝傍山南織沙溪上陵(奈良県橿原市西池尻町：畝傍監区)見張所改築工事箇所の調査  
12月実施、担当：有馬 伸・芳村弘士・池西良和  
報告文は後掲する。
- 18 崇神天皇山辺道勾岡上陵(奈良県天理市柳本町：畝傍監区)樋門改修その他工事箇所の調査  
12月実施、担当：清喜裕二・西村悦二・上原孝浩  
報告文は後掲する。
- 19 垂仁天皇菅原伏見東陵(奈良市尼辻西町：畝傍監区)樋門改修その他工事箇所の調査  
12月実施、担当：清喜裕二・西村悦二・三井朋宏  
報告文は後掲する。
- 20 孝元天皇剣池嶋上陵(奈良県橿原市石川町：畝傍監区)鳥居改築工事箇所の調査  
11月・12月実施、担当：野上修也・西村悦二  
基礎の掘削箇所の大半は既設鳥居の埋戻し土であったが、床面付近を中心に黄褐色土の地山が確認された。遺構・遺物は認められなかった。
- 21 隆子女王墓(三重県多気郡明和町馬之上：畝傍監区)鳥居改築工事箇所の調査  
12月実施、担当：有馬 伸・福島由有・長濱匡洋  
報告文は後掲する。
- 22 神功皇后狭城盾列池上陵(奈良市山陵町：畝傍監区)防災整備工事区域の調査  
11月実施、担当：今井隆太郎・南 義孝  
表参道の東～南側にあたる石積設置、および西～北側にあたる側縁の土堤の掘削に立ち会った。そのほとんどは地山で、遺構・遺物は認められなかった。
- 23 応神天皇恵我藻伏崗陵(大阪府羽曳野市誉田6丁目：古市監区)隣接地開発箇所の調査  
5月実施、担当：松尾 浩・近藤時男

後円部背面、菅田八幡宮の北側部分の隣接地で開発行為があり、境界上に掘削が及ぶため立ち会った。掘削は後世の整地層内にとどまった。

- 24 神櫛王墓(香川県木田郡牟礼町大字牟礼：古市監区)濠内整備その他工事箇所への調査  
5月実施、担当：清喜裕二  
報告文は後掲する。
- 25 用明天皇河内磯長陵(大阪府南河内郡太子町春日：古市監区)鳥居改築工事箇所への調査  
11月・12月実施、担当：浅井良寛・小谷武史  
基礎の掘削に立ち会った。大半は旧鳥居基礎掘方の埋土もしくは拝所造成土と思われた。最下部は地山に到達し、地山上面で旧鳥居(先々代か)基礎である掘り込みを確認した。明治以降の磁器の小片1点が出土した。
- 26 反正天皇百舌鳥耳原北陵(大阪府堺市北三国ヶ丘町2丁目：古市監区)フェンス扉取設工事箇所への調査  
10月実施、担当：仲田裕之・濱田武典  
陪冢い号の西側にあたる陵の東側境界沿いのフェンス扉取設に伴う掘削に立ち会ったが、後世の整地層内にとどまった。遺構や遺物は認められなかった。
- 27 聖徳太子磯長墓(大阪府南河内郡太子町太子 叡福寺内：古市監区)「結界石」緊急保存処理事業区域への調査  
8月・9月・1月実施、担当：浅井良寛・堂園雅章・小谷武史  
報告文は『書陵部紀要』次号に掲載予定である。

また、平成15年度には以下のような調査も実施した。

〔墳丘調査〕 1件

- 28 神功皇后狭城盾列池上陵(奈良市山陵町：畝傍監区)  
3月実施、担当：徳田誠志・有馬 伸  
前記1の事前調査をふまえて、墳丘部の踏査を実施し、全域を縮尺1/400、1m等高線で再測量をおこなった。その成果については、事前調査の報告と併せて後述する。

〔文献調査〕 1件

- 29 今仲家文書(大阪府藤井寺市)への調査  
3月実施、担当：北條朝彦  
今仲家は、幕末から大正にかけて現当主の曾祖父が陵墓の管理に関わり、この頃の仲哀天皇陵をはじめとする陵墓の修繕や支障木処理等の管理書類を約460点所蔵している。平成14年度調査の際に当家よりこれら文書群を譲渡したい旨の申し出があり、今回運送準備の為に再び当家を訪れ、梱包作業等を実施した。今後、各文書の内容把握と共に、目録等を作成し、将来の公表に備える予定である。